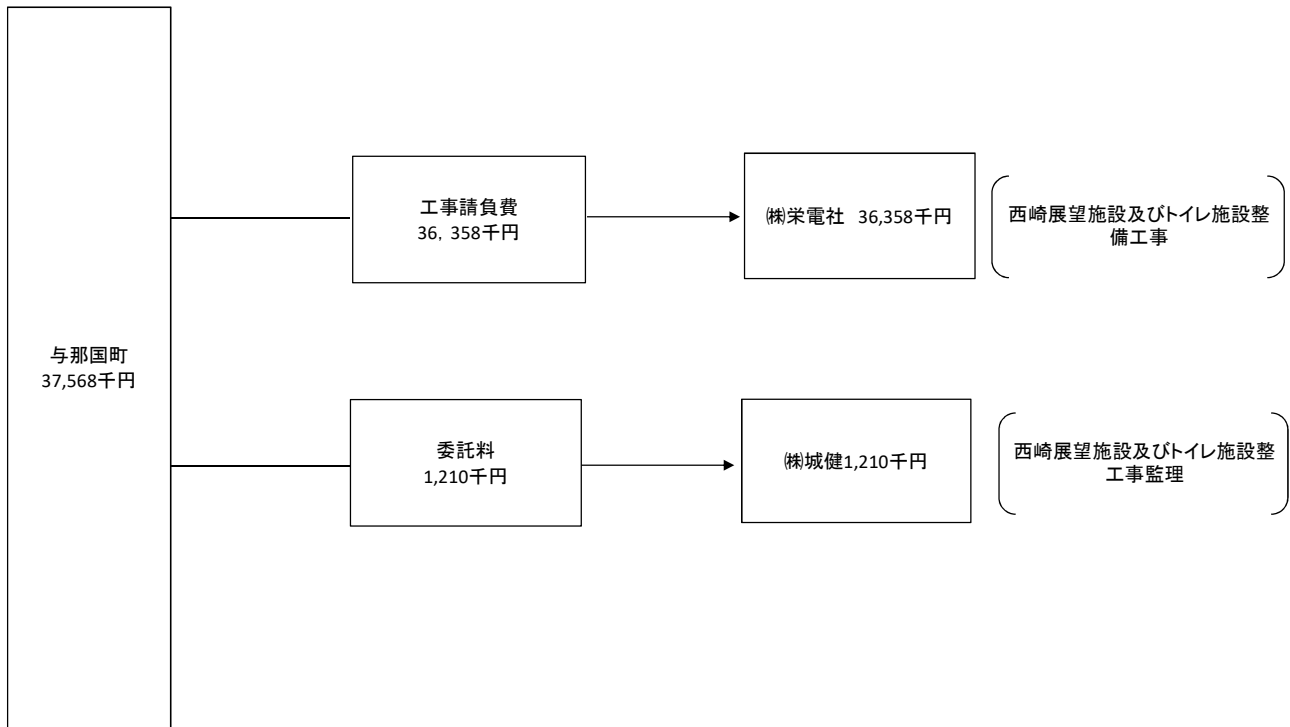


市町村名	与那国町						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	与那国町観光地整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	過疎・離島地域の振興		
事業内容	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「サンニヌ台」「西崎展望台」「東崎展望台」「ティンダバナ展望台」(景勝地)の充実を図り整備実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	43104	-			
		(b)予算現額	43104	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	0
		(d)繰越額		38,104			
	A. 計(b+d)		43,104	38,104	0	0	0
	B. 執行済額		4840	36410			
	うち交付金充当額		3872	29128			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		11.2%	95.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		計画の一部は変更になったものの概ね当初計画のとおり事業を適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R2年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	西崎展望台施設及びトイレ施設整備工事の実施。	目標	()	(整備工事の実施)	()	()	
		実績		整備工事の完了			
	/	目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	令和2年度に実施設計を完了し、令和2年度(繰越)にトイレ施設整備工事(解体を含む)を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	目標値(年度)
	西崎展望台施設及びトイレ施設整備工事の実施。	目標	()	()	(整備工事の実施)	()	()
		実績	/		整備工事の完了		/
	【R3成果目標】 利便性と安全性が確保されたか(80%以上)を含め、トイレ整備について観光客等へのアンケートで検証する。	目標	()	()	()	(実施)	()
		実績	/			未実施	/
進捗状況説明	西崎展望台施設及びトイレ施設整備工事については、令和4年度3月末で整備が完了し、令和4年4月から供用が開始されている。供用開始が4年の4月からであったためアンケート調査に関しては実施ができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・施設の完成により利便性・安全性が確保された。	定期的な維持管理に力を入れ、長期的に安定した施設の提供を行う。
今後の取り組み方針		
・利便性・安全性が確保されたか、西崎展望台施設及びトイレ施設整備について観光客等へのアンケートにより検証を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
37,568	36,410	29,128	7,282	1,158



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模だと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	与那国町国境交流結節点化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(11)-ウ		
担当部署名	企画財政課	事業実施(予定)年度	令和元年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-9-(1)		
事業内容	国際交通及び国際交流の拠点化に向けた施策を展開する。今年度は申請等手順書作成や需要調査等を実施した。 1. 企画を担保する法的根拠、諸条件及び事務手続きの整理 2. 関係機関への事務手続・申請・要請事項の確認整理 3. 需要創出調査 4. 国境交流結節点を活用した高速船旅行 社会実験企画の準備 5. 令和3年度社会実験実施計画書の作成 6. 個別マニュアルの作成						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度以降)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,314	40,040			
		(b) 予算現額	5,269	40,040			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 45	0	0	0	0
		(d) 繰越額		0	40,040		
	A. 計(b+d)	5,269	40,040	40,040		0	
	B. 執行済額	5,269	0	40,040			
	うち交付金充当額	4215	0	32,032			
	次年度繰越額	0	40,040				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	与那国町国境交流結節点化推進事業の実施(需要調査、社会実験計画の策定)		目標 ()	(実施)	()	()	
			実績	実施			
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	台湾との定期航路を実現するための法的根拠、諸条件及び事務手続きの整理を行い各申請手続き等のマニュアル9種を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R2(繰越)年度	R3年度	目標値(年度)
	与那国町国境交流結節点化推進業務の完了(需要調査、社会実験実施計画の策定)		目標 ()	()	(実施)	()	(高速船実証就航)
			実績		実施		
	【R3年度成果目標】 高速船を台湾へ就航させる実証実験の開催しての交流を図る		目標 ()	()	()	(160人)	()
	目標値 交流人口160人		実績			未実施	
進捗状況説明	令和2年度事業は、高速船就航のための社会実験の準備事業として申請手続き等の個別マニュアルの作成を行った。当初計画ではR3年度に実証実験を行う予定だったが新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たなかったため実施時期の見直しを行う必要が出たため未実施となっている。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>昨年1年かけて条件にあった使用可能な船舶を探したが国内では見つからず、今後外国も範疇に広げて探すことになるが、条件の一部(船舶の大きさ等)を変更することも視野に入れる。</p> <p>また、昨年同様新型コロナウイルスによる国際的規模の感染症の発生により外国との交流の難しさが露見したこともあり、感染症対策としての水際対策から発生した場合の対応まで疫学的対応に関しても整理していく必要がある。</p>	<p>昨年度の課題として浮かび上がった感染症への対応に関して、「国際交流事業」を進めることはA、国内、海外からの旅行者の出入りが増加し、これに伴い本町へ「移入感染症」の侵入可能性も大きくなることは否めない。</p> <p>そのための旅行者の入域に伴う「移入感染症」への予防的対応、感染症患者への初動対応や急病人を含めた重症患者初期医療提供体制、付随する高度医療機器の整備や緊急搬送時の対策、死亡時の遺体の取り扱い等に関し、予め地方自治体の役割・行動・対応等を定める必要があることも認識したが、これは町全体として取り組まなければならない。</p>
今後の取り組み方針		
<p>本事業は、令和2年度の可能性報告書を基に、高速船就航のための社会実験の準備事業として申請手続き等の個別マニュアルの作成や、需要創出調査、高速船社会実験企画の準備を実施したが、コロナ禍で実際に船舶を利用した台湾との交流の社会実証事業の段階へ進めることができていない。改善の余地に示した「移入感染症」への対応指針を数年かけて整備していくことが必要であり、そのための予備的な調査にも取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
40,040	40,040	32,032	8,008	

与那国
40,040千円

委託料
40,040千円

株式会社長大 沖縄支店
40,040千円

(令和2年度与那国町国境交流
結節点化推進事業委託)

資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は発生しておらず適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	